

## 授業実践指導案

① 単元名 人権と共生社会

② 学習計画と本時の展開

### 事前の学習計画

時	学習内容および活動 ◎内容 ・活動	教師の指導と評価 評価規準㉔㉕㉖㉗
1	◎差別問題を調べ、憲法とのつながりを考えよう。 ・部落差別、アイヌ民族、外国人差別、男女差別、障害者の現状と対策を調べる。	・5つの差別問題が基本的人権とかかわりがあることを憲法14条から考えられるようにする。 ㉔ 差別と憲法とのつながりを考えようとしている。(ワークシート)
2 3	◎事例をもとに基本的人権について調べて考えよう。 ・自由権、社会権、人権保障、新しい人権を具体例から調べる。 ・憲法との関連を考える。	・具体例を紹介し、身近な問題であることを意識できるようにする。 ・ワークシートを利用して理解できるようにする。 ㉕ 身近な生活の中に憲法の精神が具体化されていることに気づき、社会の問題について振り返って考えようとしている。(ワークシート)
4 5	◎事例について調べて、意見交換をしよう。 ・選択した事例を調べ、考えをつくる。 ・ペアになり意見を交換する。 ・自分の考えを見直す。	・自分の考えがどのような理由からか、その根拠をワークシートにまとめさせた上で、ペア学習に入る。 ・互いの考えの共通点・相違点をメモするように指示する。 ㉖ 意欲的に友達と意見交換し、共通点や相違点を見つけようとしている。(ワークシート)

### 本時の展開（第6時間目）

目標：基本的人権に関するテーマについて、討論を通して違った立場と視点から考えている。

学 習 内 容	準備資料	教師の指導と評価 評価規準㉔㉕㉖㉗	
1 学習問題を確認する。 基本的人権について立場と視点を変えて考えてみよう。	条文短冊 意見シート 補助資料 視点カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に生徒の考えにコメントを入れておき、自信をもって討論ができるようにしておく。</li> <li>・グループはあらかじめ指定し、討論がスムーズに進められるようにする。</li> <li>・立場と視点を与え、考えるポイントを明確にする。</li> <li>・今までの考えをもとに、それぞれの立場での意見を書けるように補助資料を配布する。</li> <li>・グループごとに新たな視点を提示して、様々な視点から事例を考えられるようにする。</li> <li>・事例を通して、基本的人権について、新たに見直した点などを中心に自分の考えを書くよう指示する。</li> <li>㉔ 基本的人権について違った立場と視点から考えている。(意見シート)</li> </ul>	
2 グループをつくり、テーマについて討論する。 <選択テーマ> ① 道路建設を認めますか。 ② 男性が育児休暇を取るべきですか。 ③ 夫婦別姓を選べるようにすべきですか。			
3 討論の内容を発表する。			
4 討論をもとに意見シートを記入する。			A 基本的人権について、様々な視点からとらえて考えている。
5 自己評価をする。			B 基本的人権について、違った立場と視点から考えている。
6 次時の学習内容を知る。			・提言書を書くことを知らせる。

### 事後の学習計画（第7時間目）

時	学習内容および活動 ◎内容 ・活動	教師の指導と評価 評価規準㉔㉕㉖㉗
7	◎事例から学んだことをもとに「人権と共生社会」について提言書を書く。 ・国際社会と人権について考える。 ・差別のない社会を築くために大切なことは何かについて話し合い、提言書を書く。	○提言書は意見カードやこれまでのワークシートを生かして将来に向けての自分の行動が明記できるようにしておく。 ㉕ 学習したことを生かして、将来の自分の行動を明確に示した提言書を書いている。(提言書)